

令和5年8月29日

保護者の皆様

岡崎市教育委員会

岡崎市中学校地域ブロック部活動について

日頃より本市の教育活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、スポーツ庁及び文化庁が策定したガイドラインに従い、令和11年度からの中学校における部活動の地域移行を目指し、「地域ブロック部活動」を核とした岡崎モデル「3段階プラン」を進めていきます。

つきましては、下記のとおり実施しますので、御理解の上、御協力いただきますようお願いいたします。

記

1 地域ブロック部活動について

(1) 地域ブロック部活動とは 【資料1を参照】

- ・市内20の中学校を8つのブロックに分けることを基本とし、市内全体として設置数の少ない部活動は、4ブロック、2ブロック、1ブロックでの活動とします。
- ・指導者は教員だけでなく、部活動指導員など、各種目を専門とした経験があり、指導に長けた方が子供の指導を行います。

(2) 地域ブロック部活動の目的

- ・部活動が地域に移行されても、希望するすべての生徒がスポーツや文化芸術活動に主体的に関わることができるようにします。
- ・スポーツや文化芸術活動を通して、子供の健全育成を図ります。

(3) 地域ブロック部活動のメリット

- ・岡崎市内の中学校に現存するすべての部活動への参加が可能となります。
- ・企業と連携し、指導者を招聘することにより、トップアスリートから直接受けることも可能になります。
- ・公共施設や学校施設を効果的に利活用することにより、さらに恵まれた環境の下で活動することができます。

(4) 地域ブロック部活動の活動場所について 【資料2-1・2を参照】

学校施設で主に活動する「学校施設活用型」と、公共施設で主に活動する「公共施設活用型」を想定しています。現時点で活動場所は決まっていません。決まり次第、在籍校の担当教員から連絡があります。

2 岡崎市地域ブロック部活動の移行「3段階プラン」

(岡崎部活移行3段階プラン)について 【資料3を参照】

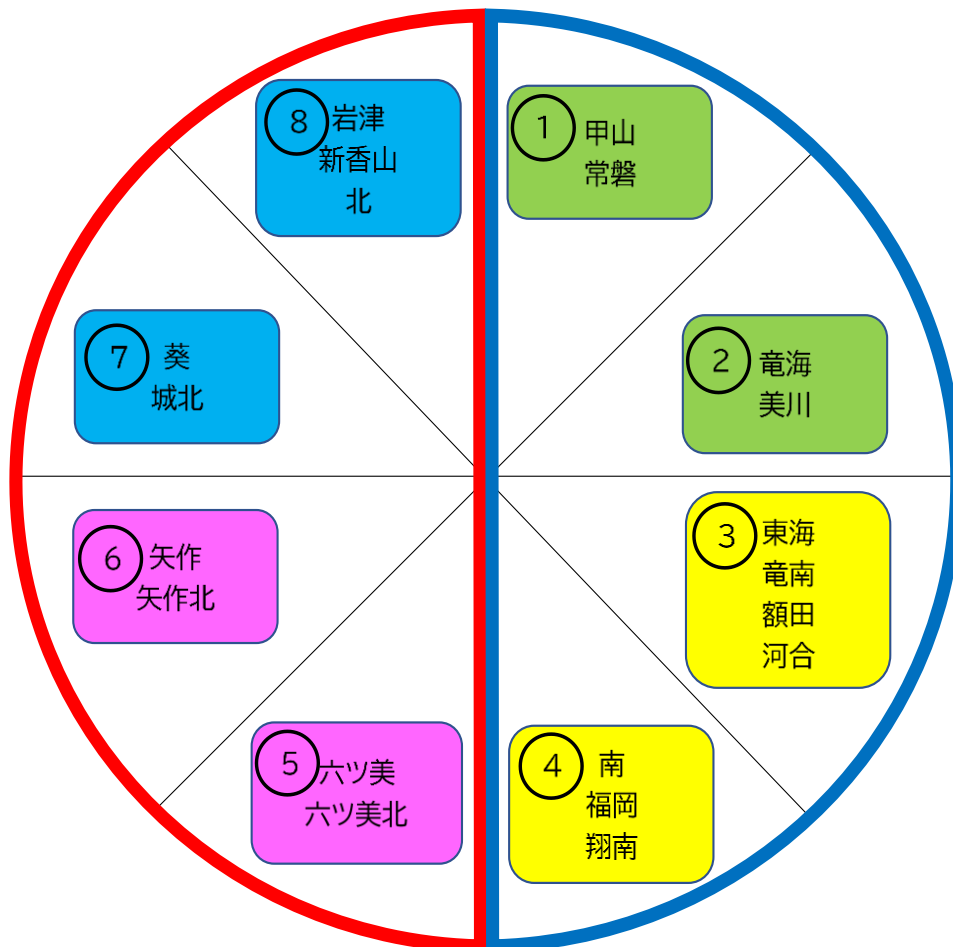
岡崎モデル「3段階プラン」では、令和5年度から7年度にかけて、中学校をブロック化し、地域ブロック部活動を行う「子供の地域移行」、令和8年度から10年度にかけて、活動場所の整備等を行う「活動の地域移行」、令和11年度には、運営の主体を学校から地域へ移行する「運営の地域移行」を計画しています。この3つの段階を踏むことによって、様々な課題を段階的に解決することができ、地域移行が実現できると考えています。

3 その他

- ・本件についての問い合わせは、在籍校の地域ブロック部活動担当者までお願いします。

岡崎市立中学校地域ブロック部活動の形について

1 地域ブロック部活動の全体図



2 地域ブロック部活動のブロック割

- ・市内20校を8ブロックに分ける。
- ・4ブロックに分ける場合は、同じ色の数字ブロック同士が結合する。
- ・2ブロックに分ける場合は、赤青の太線の枠内のブロックが結合する。
- ・1ブロックの場合は、市内全中学校を対象とする。

3 部活動ごとのブロック割について

ブロック割	部活動名
8ブロック	ソフトテニス、陸上、サッカー、剣道、野球（男） バスケットボール、バレーボール、卓球
4ブロック	ハンドボール（男）、ソフトボール（女）、吹奏楽
2ブロック	柔道（男）、オーケストラ、合唱
1ブロック	アーチェリー、弓道、柔道（女）、ハンドボール（女）

(案)

地域ブロック部活動 活動拠点(例:学校施設活用型)


資料 2 - 1

8ブロック	☆…拠点校		男女あり	男子のみ	女子のみ			
	陸上	ソフトテニス	サッカー	野球(男)	バスケットボール	バレーボール	卓球	剣道
A中学校					☆		☆	
B中学校		☆	☆					
C中学校				☆		☆		
ア小学校	☆							
イ小学校								☆

4ブロック	ソフトボール(女)	ハンドボール(男)	吹奏楽
A中学校	公共施設	D中学校	E中学校
B中学校	公共施設	D中学校	E中学校
C中学校	公共施設	D中学校	E中学校

2ブロック	柔道(男)	オーケストラ	合唱
A中学校	公共施設	F中学校	G中学校
B中学校	公共施設	F中学校	G中学校
C中学校	公共施設	F中学校	G中学校

1ブロック	アーチェリー	弓道	柔道(女)	ハンドボール(女)
A中学校	公共施設	公共施設	H中学校	I中学校
B中学校	公共施設	公共施設	H中学校	I中学校
C中学校	公共施設	公共施設	H中学校	I中学校

 は公共施設活用型と共通拠点

(案)

地域ブロック部活動 活動拠点(例:公共施設活用型 I)

資料 2 - 2

☆…拠点校			男女あり	男子のみ	女子のみ			
8ブロック	陸上	ソフトテニス	サッカー	野球(男)	バスケットボール	バレーボール	卓球	剣道
J中学校	公共施設	公共施設	公共施設	公共施設	☆		☆	
K中学校	公共施設	公共施設	公共施設	公共施設		☆		☆

4ブロック	ソフトボール(女)	ハンドボール(男)	吹奏楽
J中学校	公共施設	D中学校	E中学校
K中学校	公共施設	D中学校	E中学校

2ブロック	柔道(男)	オーケストラ	合唱
J中学校	公共施設	F中学校	G中学校
K中学校	公共施設	F中学校	G中学校

1ブロック	アーチェリー	弓道	柔道(女)	ハンドボール(女)
J中学校	公共施設	公共施設	H中学校	I中学校
K中学校	公共施設	公共施設	H中学校	I中学校



は学校施設活用型と共通拠点

岡崎市立中学校地域ブロック部活動の進め方について

これまで半世紀を超えて教師が献身的に取り組んできた部活動は、大きな教育的役割を果たしてきた。日本の貴重なインフラともいえる部活動、そして、岡崎市の中学生11,000人が関わる部活動を地域移行することは、大きな困難が予想される。

そこで、令和5年度からの3年間は、子供の活動の地域移行として、近隣の学校を同じブロックとして市内8つのブロックに分け、中学校ごとの部活動をブロック単位で行う地域ブロック部活動を、岡崎モデル「3段階プラン」の第1段階として進めていく。

岡崎モデル【3段階プラン】

実施計画立案

運営主体の地域移行

実施計画立案

活動場所の地域移行

子供の活動の地域移行

岡崎市立中学校の
地域ブロック部活動への段階的な移行

令和5年度夏
アーチェリー
弓道

令和6年度夏
(令和5年度に加え)
ソフトボール
ハンドボール
柔道

令和7年度夏
(令和5、6年度に加え)
陸上
サッカー
野球
剣道
ソフトテニス
バレーボール
卓球
バスケットボール
吹奏楽
合唱
オーケストラ

- ・比較的設置数の少ない部活動から段階的に地域ブロック部活動へ移行する。
- ・指導は、各校の顧問や部活動指導員が行う。
- ・活動は、原則休日に行う。

第1段階

学校管理下外での活動を目指して、
様々な条件整備を推進

- ・学校施設活用型
- ・公共施設活用型

検討課題

- ・学校施設活用型では、学校施設の一般開放に向けた設備改修
- ・公共施設活用型では、スポーツ施設や文化芸術施設等の利用について、負担軽減や利用しやすい環境整備
- ・学校開放事業との調整

第2段階

美術部、パソコン部等の文化部の活動は、段階的に社会文化活動に移行できるようにする。

地域ブロック部活動を段階的に外部の
運営主体へ移行

- ・岡崎市地域ブロック運営本部《NPO》
(仮称)の設置
- ・外部委託業者の選定

検討課題

- ・指導者の確保
- ・指導者の研修
- ・可能な限り低廉な会費の設定
(家庭の参加費用の負担軽減)
- ・平日の活動における送迎面の配慮
- ・部活動に準じた活動時間の管理

第3段階

国の方針が変更された場合や子どもや家庭、地域のニーズに大きな変動があった場合には、内容を見直し、必要に応じて修正することとする。

※地域スポーツ・文化芸術活動とは、民間スポーツクラブ、スポーツ少年団、スポーツ協会、地域文化芸術団体等での活動を指す。

地域スポーツ・文化芸術活動

学校管理下内

学校管理下外

R5

R6

R7

R8

R9

R10

R11以降

水泳部は、スイミングクラブへ移行する。